

2017年9月28日  
株式会社日立産機システム

## 日立SEM社がミャンマー連邦共和国 電力・エネルギー省より 配電用変圧器約5,400台を受注



日立 SEM 社が製造している配電用変圧器

株式会社日立産機システム(取締役社長:荒谷 豊/以下、日立産機)のミャンマー連邦共和国(以下、ミャンマー)における現地法人Hitachi Soe Electric & Machinery Co., Ltd.(以下、日立SEM社)は、ミャンマーの電力・エネルギー省(Ministry of Electricity and Energy)より、配電用変圧器約5,400台を受注しました。受注金額は、約1,500万米ドル(約16億円)です。

ミャンマーでは、近年の経済発展を背景に電力需要が急速に高まっており、これを支える電力インフラの整備が大きな課題となっています。ミャンマー政府は、2016年時点で37%に留まっている電化率を2030年までに100%とすることを中長期的目標として掲げています。その一環として2015年9月、世界銀行の融資を受けて、ミャンマー全土に配電網を整備し、全家庭への電力供給の実現をめざす「Myanmar National Electrification Project (NEP)」を策定しました。今回、NEPの機材に関する入札が初めて行われ、日立SEM社が配電用変圧器約5,400台を受注しました。日立SEM社は、配電用変圧器の供給を2017年10月より順次開始し、同国における電化率を2020年までに約50%まで向上させる計画の達成に貢献します。

今後、日立SEM社は電力・配電用変圧器を中心とする送配電機器の製造、販売、据付・保守を通じ、ミャンマー国内における電力の安定供給を支えていきます。

■Hitachi Soe Electric & Machinery Co., Ltd.の概要

商号	Hitachi Soe Electric & Machinery Co., Ltd.
本社所在地	ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン市
設立	2015年10月
資本金	USD45,000,000 (出資比率:日立グループ 51%、SEM社 49%)
代表者	Managing Director 稲垣 勝敏
事業内容	電力・配電用変圧器などの設計、製造、販売、据付、保守
売上	18億円(2016年度)
従業員数	約530名

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---